

令和元年度新規採用試験の状況

受験者数160人のうち28人(男22人、女6人)が合格しました。(総)

問 採用予定者の内訳は。

答 行政職20人(男14人、女6人)、土木技術職4人(男4人)、消防職4人(男4人)となっている。1月27日追加募集試験が実施され4人が追加合格した。

平成31年4月1日現在の正職員数は987人の見込みである。

停車場栄町線街路整備事業

地方街路交付金事業として実施します。(建)

問 事業計画状況は。

答 道路延長は374mで、道路幅を18mに拡幅し、約30億円の事業費で、現在事業費ベースでの進捗状況は57%となっている。完成予定が5年延長され、令和6年度になる。



早期供用が望まれる停車場栄町線

本荘地区出張所、公民館に 集落支援員を設置

集落支援員が地域課題の取りまとめや話し合いの場を提供します。(総)

問 集落支援員の人数、勤務形態は。

答 人数は1人で活動時間は週2日程度、報酬は月額5万円で身分は市の特別職非常勤職員とし、任期は1年である。

年間を通して集落支援員に活動してもらうため、市より集落支援員活動交付金を各地域の振興会等に交付し、公民館長、公民館主事とともに、地域の活動、事業が進むよう協力することになる。

水林ガス事業所解体工事

解体費に1億6500万円が計上されました。(建)

問 長年未使用の水林ガス事業所はどうするのか。

答 旧ガス事業所として昭和35年から平成15年まで使用しており、球形ガスホルダー管理棟のほか20施設の解体をするもので、現在アスベストに関する追加調査を実施している。



解体される水林旧ガス事業所施設

ナイスアリーナの雨漏りなどの 対応は

屋根全面の点検修補を実施します。(防)

問 メインアリーナにおいて、開館以降数回の雨漏りや観客席の手すり壁にクラック(ひび割れ)が確認されているが、その対応は。

答 工事請負者と工事管理者に雨漏りに係る瑕疵修補を請求しており、ナイスアリーナ屋根全面の点検修補を実施する。また、2階観客席の手すり壁に発生しているクラックについては、構造上の問題はなく観覧などの使用に影響はないが、修補などについて設計者と施工者に対応を求めている。

ナイスアリーナの指定管理料

令和元年度は約1億3千万円が計上されました。(防)

問 ナイスアリーナの今後の指定管理料は。また、施設の年間使用料収入はどの程度になると見込んでいるか。

答 令和元年度の指定管理料は総合防災公園の未整備部分を除き、約1億3千万円となっている。なお、施設の年間使用料収入は約3千万円程度を見込んでいる。

3月定例会

議論の中からピックアップ



文中の記号は次のとおり所管委員会を表しているものです。

- (総) … 総務常任委員会 (教) … 教育民生常任委員会
(産) … 産業経済常任委員会 (建) … 建設常任委員会
(防) … 総合防災公園整備特別委員会

鳥海山木のおもちゃ美術館 周辺に森林公園計画

美術館の外でも楽しめるよう、森林公園を計画しています。(教)

問 鳥海山木のおもちゃ美術館周辺に森林公園を計画とあるが、その内容は。

答 鳥海山木のおもちゃ美術館の西側で、約4千平方mの面積に、県と連携しながら散策道や遊具などを設置し、来館者が外でも楽しめるよう計画するものである。



美術館西側の森林公園計画予定地

子育て支援事業

西目地域に幼保一体化施設のこども園建設事業を進めています。(教)

問 (仮称)西目こども園の建設場所について、地域住民への説明が十分ではないとの声からあるが。

答 子育て支援事業の一環として幼保一体型のこども園を計画している。地域住民の理解を得られるよう、各関係団体にさらに丁寧な説明を続けていく。

鳥海山観光情報発信事業

BSフジとAKTで鳥海山を巡る旅が放映されます。(7月放映予定)(産)

問 本市観光振興と情報発信をどのように考えているのか。

答 平成28年に鳥海山・飛島ジオパーク認定され、環鳥海山観光は広域観光資源として、また、地域活性化の重要なエリアとして期待されている。

当市とにかほ市とが連携したテレビ番組、BSフジ&AKT「わがまま!気まま!旅気分」ちよー愉快、鳥海山の恵み巡るたび!の番組製作に86万4千円を予算化した。



桑ノ木台湿原から望む鳥海山

羽後本荘駅周辺整備事業

10億9446万円の整備費が計上されました。(建)

問 今年度の整備については。

答 令和2年10月の供用開始に向けて、駅舎を併設した東西自由通路の本体工事に着手する。現在は、仮駅舎の建設に向けて工事中である。

ICT農業取組支援事業

ドローンを活用したモデル事業を支援します。(産)

問 農業分野においてもドローンの存在感は日増しに強くなり今後の農業には欠かせないと思うが。

答 ICT農業取組支援事業は、ドローンを活用したりモーターセンシングに基づく基肥などの施肥を工夫し水稻の収量改善を図っていくモデル事業の支援である。



会長 伊藤 順男

再生可能エネルギーについて

問 洋上風力計画に心配なども含め賛否両論がある中で、市が事業推進を掲げていることに鑑みた場合、事業者以上に市の責任も大きいものと考えますが、今後における洋上風力発電事業に関する市民への説明は。

答 この法律では、関係する地方公共団体の責務として、海洋再生エネルギー発電に係る海域の利用促進に関する施策を推進するよう努めなければならないと

質問項目

1. 市長の政治姿勢について
2. 本市と高山市の行財政運営などと財務書類について
3. 本市の財政状況について
4. 定員などの適正化について
5. 再生可能エネルギーについて
6. 道徳の教科化について
7. 児童虐待における学校対応について



再生可能エネルギー発電（風力発電）

している。市としては法の趣旨に則り広報などを通じ市民にお知らせしていく。

問 欧州における情報収集項目の概要については。

答 新年度に洋上風力発電の先進地調査に300万円を計上し、調査候補地はスコットラン

本市の財政状況について

問 平成28年度決算における借金は平成21年度より68億円減っているが、市民1人当たりの借金を計算してみると88万1千円とほぼ減っていない状況である。これは、人口が減る（年間1100人前後）ことで市民1人当たりの行政コストが割高になってきていると考えるが、財政指標などにおけるバランスの見直しと対応は。

答 人口減少により市民1人当たりの借金の比率が高くなる傾向にあることから、地方債（借金）の発行や、経常経費の削減に努めるよう対応していく。

定員などの適正化について

問 常備消防組織の最適化（人員含む）については。

答 本市の人口減少や財政状況から消防組織の見直しは必要との認識から、現在の2署（矢島と本荘）体制のあり方など適正な配置について具体的に検討する。

児童虐待における

学校対応について

問 児童虐待における学校対応については。

答 学校が一丸となって児童虐待の兆候や気になる変化の早期発見に努め、疑われるような事案が発生した場合は関係機関と連携し速やかな対応に努める。

会派代表質問

施政方針・新年度予算について市長に問う！

由利本荘市誕生の意義と成果は

問 1市7町が合併して14年、体制強化や地域活性化のため、439億円の合併特例債を活用したまちづくりをしてきたが、その意義と成果は。

答 1市7町は一体的な発展を遂げてきた。各自自治体が生き残るため効率的な行政運営を目的に合併し、合併特例債活用による「由利本荘アリーナ」や「カダレー」、「ケーブルテレビ」事業など、利便性の向上やサービスの多様化

など、その効果は非常に大きく、合併による本市の誕生は間違いではなかった。

新創造ビジョンの成果は

問 新創造ビジョン10年計画の前期4年間の成果と課題、そして後期計画は。

答 前期4年間の成果は、TDKの新工場の誘致による雇用の拡大、人口減少対策では、子育て世帯支援策として、中学生までの医療費完全無料化や第2子以降の保育料無料化、また、国療跡地へ

の総合防災公園事業や羽後本荘駅の橋上駅舎と東西自由通路の着工、さらに鳥海ダムの基本計画の告示など大きく前進した。後期計画は、前期の検証や市民アンケートを考慮して優先順位を検討する。

鳥海山木のおもちゃ美術館の魅力アップは

問 「仮称」鮎川森林ふれあい公園「整備事業は。

答 県の補助率100%の事業で美術館西側市所有の森林を整備する。森林を除間伐し、ウッドチップ散策路や木製遊具、ベンチなど木育施設として機能を高めるもので、令和3年度完成の総事業費約2450万円を予定している。

工業団地の確保は

問 現在の工業団地28ヶ所は、平成10年に分譲が開始され、TDKとその子会社TDK秋田の進出により、5社が立地し全て分譲さ

れたようである。企業はチャンスとなればスピード感を持って事業を進めるため、これに対応すべきであると考えるが、本荘工業団地増設の見直しは。また、市へ用地に対する引き合いがあるのか伺う。

答 本市は県立大との産学官連携により企業活動が可能で、現在も複数の企業より用地確保の問い合わせがある。昨年11月に県知事に対し、本荘工業団地の拡張整備に対する要望書を直接提出した結果、令和元年度県予算に地形測量やボーリング調査のための調査費3890万円が計上されており、今後も県と持続的に連携し工業団地整備の早期実現を目指す。



本荘工業団地の増設を



会長 渡部 功

質問項目

1. 由利本荘市誕生の意義と成果について
2. 市長の政治姿勢と今後の取り組みについて
3. 財政の健全化について
4. 行政改革の取り組みについて
5. 外部評価実施報告について
6. 健康福祉の充実について
7. 人口減少対策について
8. 農業振興策について
9. 工業団地の確保について
10. 再生可能エネルギー事業について
11. 新ごみ処理施設整備事業について
12. ナイスアリーナの利活用について
13. 教育方針について
14. 農業委員会の取り組みについて

問 市では昨年8月以降、市内の風力発電事業を行って全16事業者に対して、国のガイドラインに基づいた措置を講ずるよう依頼している。

答 (株)ユーラスエナジーホール

問 「フェンス、柵を設けたところで悪意の第三者の進入は防ぐことができないし、チェーン柵だけでも善意の第三者の進入は防げる」としている。

答 つまり悪意の事業者は、フェンス、柵など設置のガイドラインを守らず、善意の事業者はガイドラインを順守する実態が明らかになった。「法順守」に欠けた事業者に対する市の見解を伺う。

問 この質問は昨年6、9、12月議会です。再質問したが、事業者の(株)ユーラスエナジーホールディングスは、堅固な柵を設けない理由を次のように言っている。

答 「フェンス、柵を設けたところで悪意の第三者の進入は防ぐことができないし、チェーン柵だけでも善意の第三者の進入は防げる」としている。



今野英元 (社会民主党)

風力発電施設に柵、フェンス、施錠を行わない事業者

ディングスの秋田事務所長の立ち会いのもとチェーン柵の設置について現地を確認し、その際、事業者に対して必要な措置を行うよう申し入れた。



柵、フェンス、施錠のない風車群

公的診療所の今後は

問 鳥海地域の3診療所は平成26年から年間1億5千万円の赤字だ。また大琴診療所は老朽化している。

答 公的診療所の今後の運営と見通しについて伺う。

問 鳥海地域3診療所の赤字は今年度1億3千万円である。

答 鳥海地域3診療所の赤字は今年度1億3千万円である。診療所のあり方は地域住民と意見交換を行い、持続可能な方向性を検討する。

ここが聞きたい

一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。3月定例会では、8人の議員が質問に立ちました。すべての質問項目は次のとおりです。(内容を掲載している項目番号には、○をつけています。)

8P 佐々木隆一 (日本共産党)

- 種子法廃止について県条例制定へ働きかけるべき
- 火災事故対策は万全に
- ラジオの難聴地域の解消を
- 厚労省の毎月勤労統計の不正問題について
- 再生可能エネルギーについて
- 国保税上限額の引き上げの影響は
- 西目小第2グラウンドの整備拡充を

10P 高橋和子 (高志会)

- 鳥海ダム周辺整備について
- 外国人労働者の受け入れ拡大に係る取り組みについて
- 水道事業について
- 健康長寿社会に向けた「保健・医療・介護」の連携強化について
- 地域医療検討委員会の提言について

11P 湊 貴信 (高志会)

- 消費税10%への引き上げについて
- 防犯カメラについて
- 過去最大数のクルーズ船寄港をビッグチャンスと捉えた観光振興について
- 第三セクターについて
- 漁業法の改正による影響について
- 子ども議会について
- 岩城小学校の外構地盤沈下について

10P 阿部十全 (無所属)

- ドローンなどによる空撮について
- 公共施設情報発信(ホームページ)について
- 風力発電更新計画について
- 交通弱者支援の運行登録を要しない移送制度の明確化について

11P 岡見善人 (無所属)

- 法改正に伴う当市の方針・考え方などについて
- 人にやさしいまちづくりに向けて
- 交流人口を増やし賑わいを創出する取り組みについて
- もったいない運動の推進について

9P 今野英元 (社会民主党)

- 由利本荘市の風力発電事業
- 地域労働者の賃金、労働条件
- 由利本荘市の公的診療所、地域医療について

9P 三浦 晃 (市民創風)

- 鳥海山観光について
- バイオマスタウン構想の現在の状況は
- 鳥海山木のおもちゃ美術館について
- 春の県議会議員一般選挙に向けての投票所の改善と期日前投票所の拡充は



未来につながるまちづくりのために

12P 正木修一 (無所属)

- 由利本荘市今後の農業施策について
- 外国人労働者の受け入れについて
- ひきこもり対策について
- 消防・消防団活動の安全対策について
- 北部学校給食センターの食材調達について

問 アンケートでは98%の方から満足したとの評価をいただいている。「駐車場看板が

問 開館以来、半年間で入館者が6万人を超える盛況ぶりである。アンケート結果も概ね好評のようだが、いくつか意見や要望もある。今後の対応は

答 アンケートでは98%の方から満足したとの評価をいただいている。「駐車場看板が

問 長年の懸案だった鳥海ダムもいよいよ建設に向けて動き出す。建設期間中の経済効果も大いに期待されるが、観光資源としても期待する。将来的な構想を伺う。

答 「鳥海ダム周辺整備検討会」を立ち上げ、利活用を見据えた協議を進めている。ダム湖畔を通る付け替え道路や、ビューポイントの設置などを話し合っている。新たな観光資源として位置付けて進めていく。



三浦 晃 (市民創風)

鳥海ダムを観光資源に



佐々木隆一 (日本共産党)

これ以上の風力発電はいらない風力発電、太陽光発電などを規制する条例を

問 秀峰・鳥海山の前に巨大な風車が乱立するのは、自然豊かな本市にふさわしくない。風力発電などを規制する条例を制定すべきである。

答 事業者による環境条例やガイドラインの順守を求めており、新たな条例制定やゾーニングに取り組み予定はない。

市は風力発電などの無秩序な乱立をどこまで許容するのか

問 これ以上の風車はいらないとの声が多くある。自然を壊さないでくれなど、風力発電の設置に反対する多くの市民の声にどう答えるのか。

答 市としては、新創造ビジョンに基づき積極的な利活用のため、地域住民、事業者、市の3者の相互理解のもとで推進していく。

市内でも西目地域に設置されている風力発電施設が一番多いのではないか。

問 市内でも西目地域に設置されている風力発電施設が一番多いのではないか。

答 現在26基あり、建設中も含め今後最大で20基が設置される。



乱立する風力発電施設

本市の稼働中の風力発電施設は何基か。

問 本市の稼働中の風力発電施設は何基か。

答 現在稼働中の20基以上の風力発電施設は60基である。

今後の見込は。

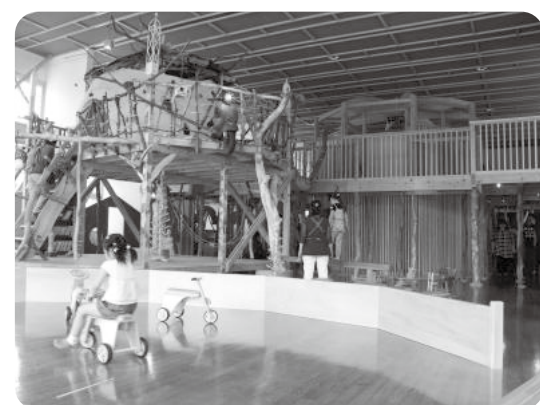
問 今後の見込は。

答 市のガイドラインに基づき届出しているものは、陸上には最大82基、洋上には最大90基計画されており、このうち建設中のものは7基である。

本市とにかほ市では何基か。

問 本市とにかほ市では何基か。

答 合計で83基設置されており、今後は陸上に最大100基の設置が見込まれている。



木のぬくもりを感じる「もりのあそびば」

期日前投票所の拡充を

問 平成29年に執行された市議会議員選挙では期日前投票者の割合は56・73%で、当日の投票者を上回った。期日前投票所の拡充が投票率のアップに貢献すると思うが。

答 期日前投票者数の大幅な増加傾向を踏まえ、買い物や仕事帰りに利用しやすい商業施設への設置を検討しており、7月に予定の参議院議員選挙から開設できるよう調整中である。

ここが聞きたい



高橋和子 (高志会)

**鳥海ダム周辺整備の検討を
行っているが峰越林道手代線を
改良するべき**

問 この林道は鳥海観光の重要道であり、鳥海山中腹ルートとして隣県に接しており来訪促進につながる。また、海岸部を走る国道の代替補完ルートとなるなど、必要不可欠の道路であり改良するべきである。

答 国有林があり整備は困難であるが、鳥海山エリアの魅力、周辺の利便性を高める重要道



鳥海ダム完成イメージ

であると認識している。観光戦略の施策の一つとして検討しているし、関係自治体と連携協議していく。

問 改正水道法で民間も運営可能になったが、水は生命を支える最も重要な資源である。水を確保し公正に配分することとは行政の重要な責務の一つであり、民間の営利事業にまかせべきではない。

答 水道事業の根幹に関わる運営は、今まで通り自前で行う。

地域医療の考え方は

問 鳥海地域は中核地域から離れた積雪地帯であり、現在の診療所は住民にとってかけがえない存在である。しかし、地域医療検討委員会の提言には将来的には統合も必要とあるがどのようなプランを想定しているのか。

答 鳥海地域の住民が安心安全に生活できるよう医療体制を堅持する。地域住民との情報共有や意見交換に努め、民間医療機関との連携を図るなど持続可能なあり方について検討する。



阿部十全 (無所属)

**ドローンなどによる
空撮について**

問 ドローンなどによる空撮動画は市民の声を反映させるためにもきわめて重要な資料となると思われるが必要性はないか。

答 空撮をはじめ、幅広い分野での活用が期待されており、大変有用性の高いものとして認識している。今後は、空撮を利用した資料などの作成について研究していきたい。

**公共施設情報
発信について**

問 公共施設などのタイムリーな情報発信で内容を充実させる必要性があると思うが、具体的な対策は。

答 各施設のホームページは、各所管課で随時点検を行い対応している。今後も、必要とされる内容、理解しやすい掲載、

表示方法について一層工夫しながら、最新の情報を迅速に提供できるように内容の充実に向けていく。

風力発電更新計画について

問 由利本荘市をとりまく風力発電事業の更新計画が次々に出てくる。どのように対処するか。

答 事業者に対し、説明会などを通して地域住民の意見を事業に反映していただくよう求めていくが、現段階で市としての説明会などは考えていない。

**交通弱者支援の運行登録を
要しない移送制度の明確化
について**

問 今後急増する交通弱者支援のために、登録を要しない制度の明確化を図るべきと思うが。

答 地域のコミュニティ、町内会などと連携しながら、ホームページや広報などにより制度の周知を図っていく。

**人にやさしい
まちづくりに向けて**

問 貧困・生活困窮家庭への支援を推進すべきと思うが、これまで市ではどのような取り組みを行ってきたのか。

答 本市では、平成29年度より社会福祉協議会と共同で、眠っている食料品を集め、生活困窮者や福祉団体へ届ける「フードドライブ」を実施している。また、今年度から、その回収場所を市役所本庁のみから各総合支所にも設置し、市民から玄米や缶詰など、多くの食料品の提供をいただいている。

**もったいない運動の
推進について**

問 市民全体でフードロスを減らす取り組みとして「もったいない運動」を推進してはどうか。

答 提案されたように、まずは市民の皆さまに食品ロスに関心を持っていただくため、3月に発行するごみ収集カレンダーを活用した啓発や、市広報・ホームページなどで、食品ロスを減らすための様々な情報発信に努めていく。

ここが聞きたい



防犯カメラの設置状況

防犯カメラの設置促進を

問 本市の設置状況と今後の計画について。

答 市が設置している防犯カメラは本荘地域の中心部に2台である。今後の設置計画は、由利本荘警察署や防犯活動に携わる各種団体と連携を図り検討する。

小中学校には24校中19校が設置済みで、未設置校においては学校と協議しながら対応を検討する。



湊 貴信 (高志会)

観光振興の促進を

問 過去最大数のクルーズ船の寄港をビッグチャンスと捉えた施策は。

答 あきたクルーズ振興協議会へ加盟し、体験ツアーなど

**未来を担う子どもたちの
声を聞く機会を**

問 子どもたちが議会の場を経験し夢や提案を主張する経緯は大事であり、子ども議会の開催を検討すべき。

答 子どもたちが諸課題について協議したり、市の施策について考え、議論したりすることは大切なことであり、課題や政策について考えを交わす機会の設定を進めていく。

現在は、「中学生会議」を開催しており「あいさつ運動」や「いいのない学校にするためには」など、主に学校が抱える問題について話し合う場を設けている。今後は中学生会議を発展させ、中学生が市長や議員の立場になり議場を学習の場とする取り組みを進めていきたい。

**法改正に伴う当市の方針
考え方は**



岡見善人 (無所属)

問 改正労働基準法では、企業に年次有給休暇の取得義務などが課せられ、違反した場合、罰則が与えられる。市主催による研修会を実施することで、法令を順守し、労働者を大切にできる魅力ある企業が本市に多く存在することも若者の定着に繋がると考えるが。

答 改正労働基準法では、年次有給休暇の確実な取得が同一労働・同一賃金の確立が盛り込まれ、国ではこの改正に当たり相談窓口の設置や補助金・助成金などによる支援制度を設けている。また、秋田労働局でも4月からの「働き方改革関連法」の施行に向け、県内各市でセミナーを実施している。当市でも関係機関と連携し、市内事業所にさらなる制度の周知が図られるよう取り組む。



由利本荘市議会改革の取り組みを紹介します!

3月19日(3月定例会最終日)に議会改革特別委員会発議の「市議会議員政治倫理条例改正案」「議員報酬等の特例に関する条例案」が可決されました。ここでは、これまでの議会改革の主な取り組みについて紹介いたします。

問1 なんのために議会改革に取り組むの?

答1 「開かれた議会」「議会のみえる化」を目指します!

- 市民の皆さまに、議会の取り組みや活動を理解いただけるように「議会のみえる化」に取り組んでいます。
- これまでの議会運営における規則や慣例などが市民のニーズ(目線)にあっているか議会の仕組み全般について検討し再構築することで、議会の活性化「みえる化」に努めます。
- 「議会のみえる化」を図ることで、議会への関心が高まり、若い世代からの「議員のなり手」が生まれ「開かれた議会」となることも期待しています。

問2 これまでどんなことが改革されたの?

答2-1 昨年9月定例会から議会における委員長報告のあり方を見直しました。

- 本会議の委員長報告において、常任委員会で行った研修の概要をお知らせするようにしました。
- これまでの委員長報告の内容は、各常任委員会の審査結果を伝えるものでした。しかし、実際は審査の過程において、議員が様々な意見を交わす議員間討議もなされています。そこで、9月定例会での委員長報告から、議員間討議がなされた議案について、その意見を盛り込む報告にしています。

答2-2 「議員のなり手」を広げるために条例を見直しました。

- これまでの本市議会議員政治倫理条例を、地方自治法の趣旨に鑑み順守型及び契約型の条例に改正しました。これにより、多種多様な人材の議会参画を促し、議会の活性化に結び付けたいと考えています。

答2-3 議員数や議員報酬の見直しの方向性を検討しています。

- 「開かれた議会」「議会の効率化」の観点から、議員定数を26人から22人に。また、常任委員会も4常任委員会から3常任委員会に見直す方向となっています。これは、現在の議事機関や議案数などから、より効率的な議会運営を目指すとともに、他の自治体の状況も参考に検討を進めた結果です。
- 平成29年度は、本議会や委員会などの議会活動として年間約100回の会議、それ以外に議員活動として市及び地域の会議や行事などに年間約180事業などに参加しています。現在の議員の活動時間、さらには若い世代の議会参画を考慮し、議員報酬を現在より4万3千円増額を要請していく予定です。
- ※この度の見直しでは、行政視察費の減額などと合わせて議員に関するあらゆる経費を精査しており、現在の議会費の予算額よりおよそ1千万円の減額を見込んでいます。

問3 これからの議会改革はどのようなことが検討されるの?

答3 「開かれた議会」「議会のみえる化」「効率的な議会」のために

- 議会の情報を市民の皆さんに伝える手立てや、IT化の推進などについて検討していきます。
- ※例年行っている「市民と語る会」でも議会の改革について、直接市民の皆さまにお伝えしていきます。
- また、5月には議会改革に関する市民アンケートを実施し、集計分析を行い、9月には市民の皆さまにもアンケート結果を報告する予定です。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



正木修一 (無所属)

農業生産工程管理(GAP) 認証取得への取り組みは

問 GAP認証取得の動きが、県内でも活発化している。市は取得希望者への経費の補助や施策面での推進を考えているのか。

答 国の助成制度を周知し、県や農協などの関係機関と連携しながら、取得希望者の掘り起こしやサポートを行なっていく。

ひきこもり者への支援は

問 若者から高齢者まで、長期化しているひきこもり状態の人たちへの支援と対策は。

答 ひきこもり状態にある方や家族が相談しやすいよう「生活支援相談センター」や「あおぞらサロン」のPRに努め、社会福祉協議会と連携して、相談支援の機能強化を図っていく。

消防団員の安全対策は 万全か

問 消防団員の安全管理・健康管理や危険予知訓練研修などが必要と考える。また、装備品・活動服の充実は。

答 安全管理を徹底し、安全対策について再確認していく。各分団に危険予知訓練研修を実施し、安全教育に取り組む。装備品の点検は実施済みで、活動服に関しては使用に堪えないような場合は更新する。

北部学校給食センターの 食材調達は

問 地場産品活用に向けた取り組みや生産計画などの考えは。

答 持続可能な納入体制の構築に向けて、生産者や農業団体を交えて協議を進めている。納入団体の組織化なども視野に入れて取り組んでいく。

由利本荘市のココが注目されています!

平成30年度 行政視察受入 一覧

平成30年度は16団体(延べ170人)が行政視察に来市されました。例年関心の高い学校教育関係に加え、新たに開館した「ナイスアリーナ」「鳥海山木のおもちゃ美術館」にも多数の自治体議会よりお越しいただいたことから、注目度の高さがうかがえます。

	議会名	人数	視察内容
1	福島県南相馬市	9	学力の向上について
2	千葉県市原市	4	学力の向上について
3	神奈川県大磯町	9	由利小学校の英語教育プロジェクトについて
4		9	学校給食の運営について
5	佐賀県	13	由利本荘アリーナの建設経緯と今後の展開について
6	千葉県八街市	3	ウッドスタート宣言、鳥海山木のおもちゃ美術館開館などの木育推進について
7	茨城県笠間市	8	コミュニティスクールの取り組みについて
8	福島県会津美里町	8	人材育成塾、木育推進の取り組みについて
9	茨城県古河市	4	文化交流館カダレの建設経緯と運営について
10	香川県高松市	21	由利本荘アリーナの施設概要と今後の展開について
11	秋田県(産業観光委員会)	15	鳥海山木のおもちゃ美術館、由利本荘アリーナの施設見学について
12	秋田県(総務企画委員会)	15	防災拠点としての由利本荘アリーナの活用について
13		15	廃校を活用した多世代交流美術館による観光振興などの取り組みについて
14	長野県佐久市	12	議会活性化、議会報告会、議会だよりの取り組みについて
15	福岡県うきは市	9	学力向上の取り組みについて
16	東京都杉並区	4	インターバル速歩を取り入れた健康増進活動について
17	秋田県横手市	1	由利本荘アリーナの建設経緯と事業費、今後の展開などについて
18	山形県	11	人材育成の取り組みについて

